

事業	事業項目	内 容	担 当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考（活用予定の補助金等）
人財育成事業	新入社員から中堅社員まで一貫した教育によって生産性の高いエンジニアを養成するとともに、産学連携による教育カリキュラムによって先進技術を活用できる高度IT人材を育成する			人財育成（委）	実施①②③					実施⑤					実施⑥	
	新入社員向け研修 （認定職業訓練） （Ⅰ-3-3.2-（1））	令和6年度新入社員を対象に、社会人基礎力の養成、Java・DB・サーバサイド技術の基礎習得を図る。 従来の①②③⑤に加え、④新入社員基礎研修を新設し新入社員教育ニーズへの対応を拡大、⑥1年目フォローアップ研修（仮称）を新設し新入社員の2年目に向けた業務スキル育成・マインド醸成を行う。 【テーマ】 ①ビジネス基礎養成 4月3日（水）～4月12日（金） ②システム開発技術者育成 4月15日（月）～5月31日（金） ③業務システム開発プロジェクト演習 6月3日（月）～6月21日（金） ④新入社員基礎研修 4月8日（月）～10日（水） ⑤フォローアップ研修 9月10日（火）～9月11日（木） ⑥1年目フォローアップ研修（仮称） 3月、1日間×2回	人財育成（委）	実施④					[次年度計画] 検 討				◎会員アナウンス 準備		研修会場は仙台市中小企業活性化センターを利用した。 ①ビジネス基礎養成 7社51名（定員50名） ②システム開発技術者育成 9社44名（定員50名） ③業務システム開発プロジェクト演習 9社44名（定員50名） ④新入社員基礎研修 4社15名（定員20名） ⑤フォローアップ研修 9社58名（定員40名） 令和7年度申込状況（3/31現在） ①ビジネス基礎養成 12社57名（定員50名） ②システム開発技術者育成 6社41名（定員50名） ③業務システム開発プロジェクト演習 6社41名（定員50名）	
	ステップアップ研修 （Ⅰ-3-3.2-（1））	新入社員研修後の継続的な教育サポートによって技術・知識の定着を図るステップアップ研修を実施する。（1テーマ予定） また、先進技術を用いた実践的研修で高度ITエンジニアを育成する。 前年度テーマ AWS[デベロッパーアソシエイト]ハンズオン講座	人財育成（委）							準備			○実施		実施無し	
	中堅社員向け研修 （Ⅰ-3-3.2-（2））	技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を負う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネージメント力の向上等に関わる実践的研修を実施する。（2日×3コース） 前年度テーマ ①SEのためのチームマネジメント研修（2日間） ②社会人2、3年目フォローアップ研修（1日） ③自己成長を加速！自立型中堅社員養成研修（1日） ④システム開発におけるレビュー技法（2日間）	人財育成（委）							○実施①						①人に教える技術研修 9社15名（定員15名） ②社会人2、3年目フォローアップ研修 9社13名（定員15名） ③自己成長を加速！自立型中堅社員養成研修 9社23名（定員15名） ④IT開発におけるプロジェクトマネジメント研修 10社19名（定員15名） ⑤エンアグラムセミナー（2回） 11社16名（定員8名×2回）
	次世代研修 （Ⅰ-3-3.2-（3））	トップリーダーの講演を通して、次世代に求められるスキルや考え方を学ぶ。（1日×2回コース）	人財育成（委）				準備				○実施					次世代研修：「商社からみた、IT業界」（勉強会＋懇親会） 会場：ホテルJALシティ仙台 参加者数：7社11名、オブザーバ参加5名
技術研修	技術紹介 （Ⅰ-3-3.2-（4））	先進技術（AI・データアナリティクス、IoT、ブロックチェーンや情報セキュリティなど）や話題のエンジニアの講義・講演等による技術紹介を実施する。	人財育成（委）					準備		○実施						・受益者負担とする。 ・外部連携など、無料の研修も検討する 「ナノテラス見学ツアー」 会場：ナノテラス放射光施設 参加者数：50名

（注）1.事業項目欄の（ ）内は事業計画書本文の項目Noを示す。